

1. 評価対象事務事業

		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	畜産振興事業	担当課・係名	産業観光課産業振興係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	12
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	乳牛の健全な飼養及び畜産環境				
対象 (誰を・何を)	畜産農家				
内容	環境対策のための薬品の配布、家畜防疫対策、改良、育成牛預託事業の支援				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	901	711	1,008
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	901	711	1,008
	職員人数 (概算職員数)	人			0.37
	人件費計 (b)	千円			2,267
総事業費 (a)+(b)	千円	901	711	3,275	
事業費内訳 H 25 年度	普通旅費：3千円 消耗品費：33千円 家畜防疫対策事業費補助金：240千円 種畜改良凍結精液利用事業費補助金：125千円 乳牛育成預託事業費補助金：342千円 県共進会出品者交付金：15千円 町畜産振興交付金：250千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 畜産農家	戸	11	9	8
	②				
活動指標 (活動量)	① 補助件数	件	11	9	8
	②				
成果指標 (達成度等)	① 補助件数	件	11	9	8
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町畜産会との協働事業でありほぼ妥当。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町畜産会との協働事業でありほぼ妥当。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 計画通り事業等も進捗している。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 各種補助金の実績はあり、おおむね上がっている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 補助金等については毎年必要に応じ、減額等している。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 畜産農家が減少しており、計画等についても再度見直す必要性もある。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	畜産への新規参入は難しく、畜産会を中心に今後のありかたについて検討する
② 平成26年度に着手する事項	定例会等で今後の畜産について検討する
③ その他（課題、調整事項等）	畜産農家が減少し、今後は畜産会のあり方はもちろん、6次産業化の方向も視野に入れていく必要がある。

6. 平成26年度事業への取り組み状況（改善内容等）

畜産農家が減少していく中で、会員同士の話し合いを通じて将来のことを話し合う
